自治体との連携による泥炭の有効利用

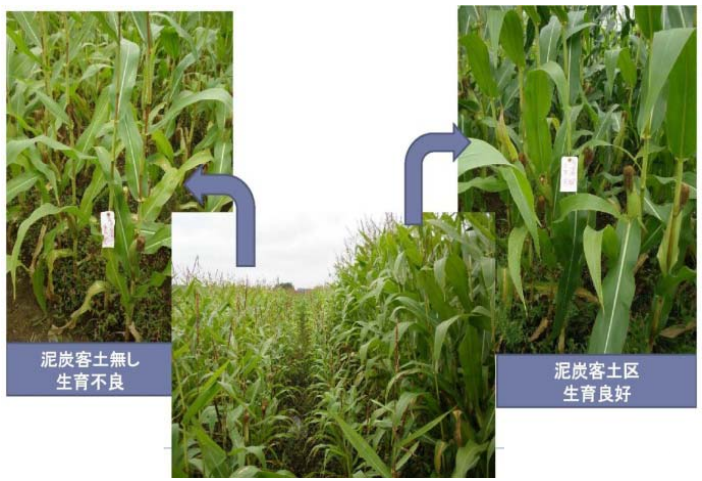
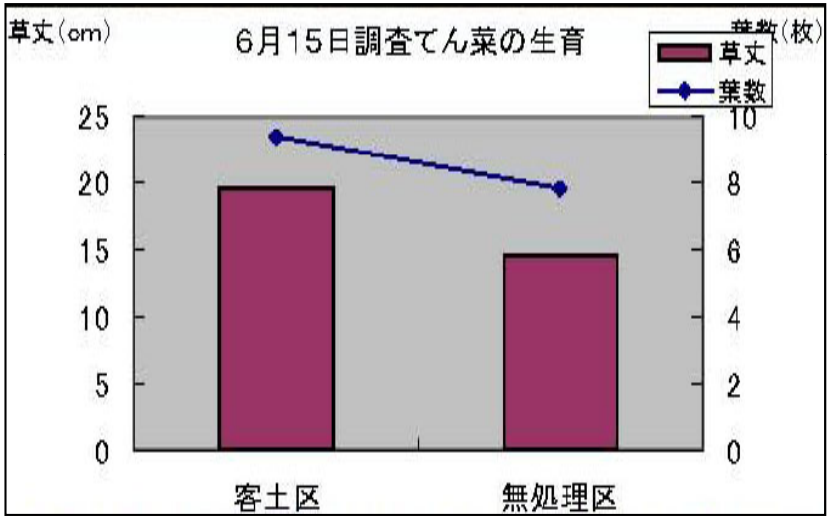
国土交通省

地域と連携した取組事例

◎河川工事により発生する泥炭は比重が小さく軟弱で盛土材として不向きのため、処理方法が課題でした。
一方で泥炭は、通気性、保水性、保肥性が高く土壌改良材としての活用可能性があることから、平成２０年度から、地元農家へ提供して活用する試みを行っています。また、泥炭を畑へ投入した結果、甜菜、デントコーンの生育改善効果が得られています。
今後もさらなる取組の拡大を目指して取組を進めていきます。

泥炭の搬入状況

泥炭の敷均し状況



デントコーンの生育状況